

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成28年5月23日 午後7時00分から午後8時40分まで
3 会場	西部公民館 1階大ホール
4 出席者	五十嵐委員、石塚委員、小市委員、小宮山委員、渋谷委員、清水委員、高橋委員、田畑冨子委員、田畑裕康委員、塚本委員、久田委員、平石委員、堀内委員、宮川委員、宮崎委員、宮下委員、向山委員、母袋委員、山崎委員、横関委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、武捨市民参加・協働推進課長補佐兼係長、北沢市民参加・協働推進課長補佐兼係長、小林市民参加・協働推進担当係長、樋口市民参加・協働推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年6月3日

協 議 事 項 等

会議次第

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 地域内分権について

- ・事務局から、地域内分権の推進について説明
- ・以下、質疑応答

(委員) 昨年度までの西部地域における進捗状況はどうか。

(事務局) 事務局から説明はしているが、協議にまでは至っていない状況である。

(委員) 住民自治組織が設立されている他地域では、どの組織が中心となり設立まで至ったのか。

(事務局) 地域によって違いはある。地域協議会が中心の地域もあれば、自治連が地域内分権に関する視察に行き、中心となって推進している地域もある。

(委員) 地域協議会が中心となって推進するのか。基本的な組織・役割などから説明しないと非常に難しい。

(委員) 市の方針は住民自治組織設立に向けて進んでいる。住民自治組織を設立し、予算計上もされている地域もある。設立まで至らないと交付金がもらえないので、焦る気持ちはある。

(委員) 塩尻地区は、地域内分権推進の活動目的がはっきりとしていないため、本当に必要な組織なのかかわからないという意見が多い。焦って設立することはないのではないか。

(事務局) 時代の流れもあるので、組織を設立し、将来へ向け準備していく事も大切ではないかと思う。しかし、デメリットは、組織設立の際に委員の方に負担をかけてしまう事である。

(委員) 交付金の内訳について、どのような経費にいくらかけるかというのは決まっているのか。

(事務局) 交付金の目的は地域で協議し決めてもらうが、設立の初年度に関しては事務用品や組織定着させのために充てていただくようお願いしている。今後は、交付金を地域のために利用することがメリットになってくる。

(委員) 単純な計算だが、西部地域は既に交付金が交付されている地域と比べ何百万円も損をしていると考えることもできる。メリット・デメリットを考えているよりも早く組織を設立した方が良いのではないか。

(委員) 地域協議会が中心となるのは難しいと思う。自治会に協力してもらわない限り、組織はできないという不安がある。今後自治会で賄っていかなければならない問題は必ず出てくるので、まずは自治会に説明が必要。地域内分権はおそらく自治会が中心になる。また、PTA等にも説明をし、理解を得なければ難しいのではないか。

(委員) 今日の地域内分権に関する説明は今までで一番分かりやすかった。それぞれ意識の違いがあるため、一概に良し悪しは言えない。何十年後の西部地域の事を考えるのは難しいことだが、今後人口が減っていく中、この地域を存続していくために、自治会も一緒に意識をもって皆で取り組まなければならないと思う。

(2) その他

- ・特になし

4 報告事項

(1) 西部公民館施設整備事業について

- ・事務局から西部公民館施設整備事業の進捗状況について説明。

5 その他

(1) 今後の予定

ア 第3回西部地域協議会

(ア) 日時 平成28年6月22日(水)午後7時から

(イ) 場所 西部公民館1階大ホール(和室)

イ 第4回西部地域協議会

(ア) 日時 平成28年7月19日(火)午後7時から

(イ) 場所 西部公民館1階大ホール(和室)

(2) その他

- ・事務局から、平成28年度わがまち魅力アップ応援事業第2回募集開始時期について報告

6 閉会